2021年度　シラバス（授業要覧）

共通基礎科目　1年生

001

科　目	人間学Ⅰ	開講時期 履修方法	1年前期 必修、人間の基礎
担当者	中島　航	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	「人間学」は、御命日勤行と人間学座談で構成され、「本学の願い」に触れることを通して人間を学ぶ。 御命日勤行の内容は、勤行・仏教讃歌・講話・感話で、講話は教科書をもとに担当教員が、感話は担当クラスの学生が行う。いずれもテーマは「共に生きる」。 （講話のテーマは「本学の願い」、感話のテーマは、「出遇い」、または、「生きる」。）人間学座談は、御命日勤行での講話・感話を聞いて、自分自身が感じたこと、考えたことを少人数のクラスで語り合う。		
到達目標	「本学の願い」に触れ、人間としてどう生きるのか尋ねることができる。 講話や感話から他者の意見を聞き、自分自身の考えを表現できる。		
学習成果の評価基準	「人間学」を通して感じたこと、考えたことを「人間学ノート」に記述する。「人間学」への取り組み姿勢（聞く、書く、語る）を受講態度の評価とする。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	人間学オリエンテーション 人間学とは・仏教讃歌講義・勤行練習	「授業要覧」を読む
2.	御命日勤行（４月）「本学の願い」に学ぶ① 講話：教務部長 感話クラス：１年（専攻・仏）　２年（仏・教職員）	教科書、人間学ノートを読む
3.	人間学座談①	御命日勤行を振り返る
4.	御命日勤行（５月）「本学の願い」に学ぶ② 講話：表現学科 感話クラス：１年（福祉・M）　２年（福祉・M）	教科書、人間学ノートを読む
5.	人間学座談②	御命日勤行を振り返る
6.	御命日勤行（６月）「本学の願い」に学ぶ③ 講話：福祉学科 感話クラス：１年（K・演）　２年（K・演）	教科書、人間学ノートを読む
7.	人間学座談③	御命日勤行を振り返る
8.	御命日勤行（７月）「本学の願い」に学ぶ④ 講話：仏教学科 感話クラス：１年（J・I）　２年（J・I）	教科書、人間学ノートを読む
9.	人間学座談④	御命日勤行を振り返る
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	『釈尊 生涯と教え』（東本願寺出版）・「人間学ノート」
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）人間学ノート提出（８０％） 提出された人間学ノートにコメントし、フィードバックします。
特記すべき事項	人間学は全学を学年ごとに二分割し実施する。
質問・相談等の受付	

科　目	002 人間学Ⅱ	開講時期 履修方法	１年後期 必修、人間の基礎
担当者	中島　航	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	「人間学」は、御命日勤行と人間学座談で構成され、「本学の願い」に触れることを通して人間を学ぶ。 御命日勤行の内容は、勤行・仏教讃歌・講話・感話で、講話は教科書をもとに担当教員が、感話は担当クラスの学生が行う。いずれもテーマは「共に生きる」。 （講話のテーマは「本学の願い」、感話のテーマは、「出遇い」、または、「生きる」。）人間学座談は、御命日勤行での講話・感話を聞いて、自分自身が感じたこと、考えたことを少人数のクラスで語り合う。		
到達目標	「本学の願い」に触れ、人間としてどう生きるのか尋ねることができる。 講話や感話から他者の意見を聞き、自分自身の考えを表現できる。		
学習成果の評価基準	「人間学」を通して感じたこと、考えたことを「人間学ノート」に記述する。「人間学」への取り組み姿勢（聞く、書く、語る）を受講態度の評価とする。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	人間学オリエンテーション 仏教讃歌講義・勤行練習	「授業要覧」を読む
2.	御命日勤行（１０月）「本学の願い」に学ぶ① 講話： 感話クラス：	教科書、人間学ノートを読む
3.	人間学座談①	御命日勤行を振り返る
4.	御命日勤行（１１月）「本学の願い」に学ぶ② 講話： 感話クラス：	教科書、人間学ノートを読む
5.	人間学座談②	御命日勤行を振り返る
6.	御命日勤行（１２月）「本学の願い」に学ぶ③ 講話： 感話クラス：	教科書、人間学ノートを読む
7.	人間学座談③	御命日勤行を振り返る
8.	御命日勤行（１月）「本学の願い」に学ぶ④ 講話： 感話クラス：	教科書、人間学ノートを読む
9.	人間学座談④	御命日勤行を振り返る
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	『親鸞 生涯と教え』（東本願寺出版）・「人間学ノート」
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）人間学ノート提出（８０％） 提出された人間学ノートにコメントし、フィードバックします。
特記すべき事項	人間学は全学を学年ごとに二分割し実施する。 講話・感話クラスについては、別途知らせる。
質問・相談等の受付	

003

科　目	自己との出会い	開講時期 履修方法	1年前期 必修、人間の基礎
担当者	中島　航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	学科混合の少人数クラスで、感話と座談を中心とした授業を行う。感話と座談、そして、感想文を書くことを通して自分自身について学ぶ。		
到達目標	日常の身近なことについての対話を通して、自己（自分）とは何か、人間とは何かを考え、表現することができるようになる。		
学習成果の評価基準	授業内課題、感想文提出への取り組みを「受講態度」「授業内課題」の評価とする。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	「自己との出会い」とは何を学ぶ時間かを確かめる①—授業概要の確認—	「授業要覧」を読む
2.	「自己との出会い」とは何を学ぶ時間かを確かめる②—全体講義—	「授業要覧」を読む
3.	自己紹介をする①	発表準備
4.	自己紹介をする②	発表準備
5.	他己紹介をする①	発表準備
6.	他己紹介をする②	発表準備
7.	感話をする	発表準備
8.	「ありがとう」について考える	発表準備
9.	「生まれた事実」について考える①	発表準備
10.	「生まれた事実」について考える②	発表準備
11.	「人間」について考える	発表準備
12.	「悩み」について考える	発表準備
13.	「欲望」について考える	発表準備
14.	「自己との出会い」について考える①	発表準備
15.	「自己との出会い」について考える②	発表準備

教科書	『親鸞　生涯と教え』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（40%）授業内課題（30%）定期試験（30%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

003

科　目	人権論（仏教、演劇放送、情報司書、福祉）	開講時期 履修方法	１年前期 必修、人間の基礎
担当者	横田亮雄・組坂幸喜	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	人権の概念や確立の歴史について学び理解する。部落差別をはじめとする現代社会に渦巻く様々な人権問題について学び理解する。		
到達目標	「人としての生き方」という視点から、人権の概念や様々な人権問題についての科学的認識と感性を深めるとともに、人権確立社会を目指す意思や実践力を身につける。		
学習成果の評価基準	人権の概念について科学的認識に基づく理解ができており、実生活において人権を尊重する言動が実践できる。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション・人権課題の学習計画と方法について	
2.	「人権」という言葉の基礎的歴史と人権侵害の実態について	
3.	生活の中に見られる具体的な人権と憲法について	
4.	国内の人権課題の現状について１	
5.	国内の人権課題の現状について２	
6.	国内の人権課題の現状について３	
7.	国内の人権課題の現状について４	
8.	国内の人権課題の現状について５	
9.	宗教における人権問題について	
10.	グローバルな視点での人権問題について	
11.	インターネットなどでの人権問題について	
12.	実生活上の人権問題について	
13.	人権確立に向けたスキルアップについて１	
14.	人権確立に向けたスキルアップについて２	
15.	人権問題についての個人発表と交流	

教科書	人権教育・啓発に関する様々な書籍・資料（映像や音声を含む）・報告書　等
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（１０％）　授業内課題（１０％）　定期試験（５０％）　授業内発表（３０％）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

C03

科　目	人権論（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	１年前期 必修、人間の基礎
担当者	牛島修彦・松本　慈	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	人権の概念や確立の歴史について学び理解する。 同和問題をはじめとする現代の様々な人権問題について学び理解する。		
到達目標	「人としての生き方」という視点から、人権の概念や様々な人権問題についての科学的認識を深め、人権が大切にされる社会をめざす意志と実践力を養う。		
学習成果の評価基準	講義を聞きながら何が重要であるかを判断し、自分の人権論ノートを作成する中で、基本的な人権問題について理解し、人権問題解決のためにアプローチしようとする技能や態度が身についたかを評価する。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション・様々な人権課題について	講義の進め方について確認し、ノート作成について整理する。
2.	社会における人権侵害の状況について	社会にある人権問題について考える
3.	生活の中に舞られる無意識の差別について	マイクロアグレッションについて自分の考えをまとめる
4.	格差社会における、子どもの状況（子どもの権利条約をふまえて）について	子どもの貧困について考える
5.	障害者問題（障害者差別解消法をふまえて）について	合理的配慮について理解する
6.	水俣病の現状について	水俣は今の問題であることを考える
7.	個別人権課題（ＬＧＢＴ・デートＤＶ）について	性の多様性について考える
8.	異文化理解（ヘイトスピーチ対策法をふまえて）について	在日朝鮮。韓国人に対するヘイトスピーチについて考える
9.	異文化理解等（GTを迎えて）について	ダイバーシティによる地域づくりについて考える
10.	被差別部落の歴史　入門	義務教育で学んだ被差別部落の歴史について振り返る
11.	部落差別の実態について（１）	部落問題との出会いについて考える
12.	部落差別の実態について（２）	今もある部落問題について考える
13.	同和問題の解消に向けて（部落差別解消推進法をふまえて）	差別をなくすための取り組みについて考える
14.	様々な人権問題についての考えをまとめる（ミニ論文の作成）	差別をなくすための取り組みについて考える
15.	様々な人権問題についての個人発表と交流	人権論学習を振り返り交流する

教科書	人権教育・啓発に関する様々な書籍・資料・調査報告　等
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（１０％）　授業内課題（２５％）、定期試験（５０％）　授業内発表（１５％）
特記すべき事項	１～７牛島修彦、８．１０～１５松本慈　９松本慈・外部講師
質問・相談等の受付	

004

科　目	キャリアデザインⅠ	開講時期 履修方法	１年前期 必修、生活の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位

授業概要	「自分を知る」 １）「学生生活を始める」では、大学生としての基本的知識、ルールについて学ぶ。 ２）「自分を知る」では、自己理解、他者理解を通し、就職設計の前提として「大学生」として２年間の大学生活をプランニングする。 ３）「社会を知る」では、外部講師を招き、社会人としてのマナーを身に着けることを学ぶ。
到達目標	毎授業冒頭に、社説等を書写し、書く力を習得する。 毎授業の理解度を図るため、振り返りを書き評価対象とする。 ペアワーク、グループワークを通し、他者と共に課題を解決する協働力ができるようになる。
学習成果の評価基準	到達目標に明示している書く力や振り返りのレポートを書き、他者と共に課題を解決する協働力などができる事などを評価とする。

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	キャリアデザインとは何か、なぜ必要なのか 大学生としてのルール、講義の受け方、ノートの取り方、受講するマナー	
2.	メンタルヘルス・ストレスコントロール、大学生活を始めるにあたって、九州大谷の学生支援概要説明	シラバスを熟読すること
3.	九州大谷短大のことを知る、自己紹介シート作成（長所と短所を知る）、「大谷とは」「九州大谷の意義（学科構成）	講義の内容を振り返ること
4.	文章力を身につける　（レポート作成）	講義の内容を振り返ること
5.	自分のストーリーを書く（自分史）	講義の内容を振り返ること
6.	自己効力感への気づきと自己肯定	講義の内容を振り返ること
7.	MYロードマップ作成 短大２年間の目標設定　大学に入学した目的とこれから２年間の目標を確認する	講義の内容を振り返ること
8.	他者を知る（ペアワーク） 自分の正義と他者の正義　「共に」とは何か	講義の内容を振り返ること
[illegible].	「製品作りゲーム」 問題を発見し、解決方法を考える	グループワークを振り返ること
10.	「砂漠ゲーム」 他者の意見を聞き入れ、一つにまとめる	グループワークを振り返ること
11.	情報モラル・ＳＮＳによるトラブルについて（社会人としてやっていいこと、悪いこと）	講義の内容を振り返ること
12.	身だしなみのマナー、人は見た目が重要か	講義の内容を振り返ること
13.	社会人としてのマナー（電話応対）	講義の内容を振り返ること
14.	MYロードマップを参照し、入学から今までの大学生活を振り返る。未来履歴書	講義の内容を振り返ること
15.	「キャリアデザインⅠ」の講義を通して	講義の内容を振り返ること

教科書	
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（３０％）授業内発表（２０％）その他【課題レポート】（５０％）
特記すべき事項	学生の主体的な参加が求められる講義です。講師紹介と講義のお礼の言葉は学生が担当します。
質問・相談等の受付	

005

科　目	キャリアデザインⅡ	開講時期 履修方法	１年後期 必修、生活の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位

授業概要	「社会と出会う」 １）「社会人に学ぶ」では、外部講師をお招きし、仕事・職業観・人生経験等について話をしてもらい、質疑応答の時間を設ける。勇気をもって質問するだけでなく、質問時の態度や表現の仕方を学ぶ。 ２）「社会に出る」では、社会のルールや知識を学びグループワークを行うことで学びを深める。
到達目標	毎授業冒頭に、社説等を書写し、書く力を習得する。 毎授業の理解度を図るため、レポートを課し評価対象とする。 グループワークを通し、他者と協働し課題を解決する力を身につけることができる。
学習成果の評価基準	到達目標に明示している書く力やレポートを課し、グループワークを通じ他者と共に課題を解決する協働力などを評価とする。

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	就職活動に向けた「就活ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ」説明、MYロードマップの確認	
2.	働くということ 適性検査を受けてみよう	
3.	公務員として生きる 市役所職員を目指した理由	シラバスを熟読すること
4.	地域を支える生き方 人との出会い、つながりで地元を活性化	講義の内容を振り返ること
5.	個人事業主という生き方 挫折から学んだこと	講義の内容を振り返ること
6.	業界研究（企業各社・保育所などの職業観・職場を知る）	グループワークを振り返ること
7.	専門職として生きる（卒業生） 夢と現実・今思う「やっとけばよかった」（保育士・介護福祉士・一般）	講義の内容を振り返ること
8.	就職活動方法 いよいよ始まる就職活動、まずやるべきこととは	講義の内容を振り返ること
9.	人間としてどう生きる 仕事をする上で欠かせない人とのつながり。これからどう生きる？	講義の内容を振り返ること
10.	人間関係や就職活動における心のバランスを保つ	講義の内容を振り返ること
11.	社会のルール お金の使い方、お金の動きを知る	グループワークを振り返ること
12.	社会のルール ＬＧＢＴＱ＋を学ぶ	グループワークを振り返ること
13.	社会のルール 労働法則を学ぶ	グループワークを振り返ること
14.	大谷で学んだこと、就職活動報告（２年生体験談）	講義の内容を振り返ること
15.	授業総括・履歴書作成	

教科書	『就職活動ハンドブック』ディスコ編・出版　他
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（３０％）授業内発表（２０％）その他【課題レポート】（５０％）
特記すべき事項	学生の主体的な参加が求められる講義です。講師紹介と講義のお礼の言葉は学生が担当します。
質問・相談等の受付	

005-1

科　目	マナー実践Ⅰ	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	ビジネスリファイン	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として国際的に通用するマナー、冠婚葬祭などの日本の礼儀作法を習得する。		
到達目標	マナーの知識を習得し、社会人として信頼される振る舞いや心遣いを身につける。		
学習成果の評価基準	到達目標の達成度を測るため、授業内課題、定期試験で評価する。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション（マナーとは何か・マナーを学ぶ意義）	マナーとは何か考えてくる
2.	第1章：マナーの歴史と意義	日本・西洋ノマナーの歴史をレポートにまとめる
3.	第1章：マナーの歴史と意義(異文化コミュニケーション)	異文化に接した自分の体験を発表できるよう準備する
4.	第2章：国際人としてのプロトコール（プロトコールの原則と具体的な席次例）	テキストの席次についての箇所を読む
5.	第2章：国際人としてのプロトコール（社交の場でのコミュニケーション・挨拶と紹介）	社交の場での好ましい話題・好ましくない話題を考える
6.	第2章：国際人としてのプロトコール（国旗の扱い・異文化コミュニケーション）	テキストの国旗の箇所を読む
7.	第3章：社会人に必要なマナー（好印象を与えるコミュニケーションとは）	第一印象を決めるものについて考えてくる
8.	第3章：社会人に必要なマナー（言葉遣い）	3種類の敬語の使い方をまとめる
9.	第3章：社会人に必要なマナー（聴き方・話し方）	上手な聴き方・話し方のポイントを考えてくる
10.	第3章：社会人に必要なマナー（礼装の基準）	TPOに分けて服装を表にする
11.	第3章：社会人に必要なマナー（喜ばれる贈答）	袱紗の取り扱い方を練習する
12.	第3章：社会人に必要なマナー（手紙のマナー）	実際に手紙を書く
13.	第3章：社会人に必要なマナー（まとめ）	第3章までの定着を図るための復習をする
14.	第4章：　ビジネスシーンのマナー（ビジネスマナーの必要性・名刺の扱い方）	会社組織について概略をまとめる
15.	第4章までのまとめ（到達度確認テスト）	前期の到達度を確認する

教科書	マナー＆プロトコールの基礎知識（NPO法人マナー・プロトコール協会）
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度　(10%)　授業内課題　(30%)　定期試験　(50%)　授業内発表　(10%)
特記すべき事項	マナーを身近なものとして学ぶため、実際の経験や意見を発表していただくことがあります。また、レポートなどの課題を出すことがあります。
質問・相談等の受付	

0052

科　目	マナー実践Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	ビジネスリファイン	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として国際的に通用するマナー、冠婚葬祭などの日本の礼儀作法や心遣いを習得する		
到達目標	マナーの知識を習得し、社会人として信頼される振る舞いや心遣いを身につける		
学習成果の評価基準	マナー・プロトコール3級検定の取得を評価する。 到達目標の達成度を測るため、授業内課題、定期試験で評価する。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	第4章：ビジネスシーンのマナー（来客応対・ビジネス文書）	ビジネス文書を実際に書く
2.	第4章：ビジネスシーンのマナー（まとめ）	ビジネスマナーの定着を図るため復習をする
3.	第5章：食事のマナー（食事の作法の基本・和食のマナー）	各国の食事に使う道具について調べる
4.	第5章：食事のマナー（和食のマナー）	自分と家族の箸使いをチェックする
5.	第5章：食事のマナー（和室の作法・和食のまとめ）	和室での作法をレポートにまとめる
6.	第5章：食事のマナー（西洋料理のマナー・各国料理のマナー）	各国の料理の特徴の違いをまとめる
7.	第5章：食事のマナー（まとめ）	食事のマナーの定着を図るための復習をする
8.	第7章：「冠」のしきたり	発表を前提として通過儀礼についての経験をまとめる
9.	第8章「婚」のしきたり	祝儀袋の使い方を復習する
10.	第9章：「葬」のしきたり	テキスト中の難解な言葉を調べてくる
11.	第10章：「祭」のしきたり	発表を前提として年中行事の経験をまとめる
12.	冠婚葬祭のしきたり（まとめ）	定着を目的として冠婚葬祭の復習をする
13.	冠婚葬祭のしきたり（まとめ）	冠婚葬祭について各自の考え方を発表する
14.	マナープロトコール一年間のまとめ（到達度の確認）	到達度確認のための試験
15.	マナープロトコール一年間のまとめ（検定試験およびレポート）	一年間の総復習と検定試験

教科書	
参考書	マナー＆プロトコールの基礎知識（NPO法人日本マナープロトコール協会）
学習成果の評価方法	受講態度　（10%）　授業内課題　（30%）　定期試験　（50%）　授業内発表　（10%）
特記すべき事項	マナー・プロトコール3級検定全員受験（必須） 発表やレポート課題を出します。必ず準備・提出すること。
質問・相談等の受付	

006

科　目	仏教音楽Ⅰ	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	樋口光融	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	主に西洋音楽の流れをくむ、現代の仏教音楽、特に真宗の仏教音楽について学ぶ。西洋音楽は宗教儀式との関わりにより大きく発展してきたが、日本においても明治期以降にはその影響を大きく受け、仏教の儀式等においても親しまれてきた。仏教音楽を通して、真宗の心をいただく、我々の在り方を考える。		
到達目標	現代の真宗の音楽について知識を深めるとともに、身体技法としての音楽への接し方を身につけ、生涯にわたり仏教音楽に親しみ、音楽を通じた聞法の生活と念仏僧伽の形成に結び付く資質の涵養を目指す。		
学習成果の評価基準	現代の真宗の音楽について具体的な楽曲に関する事を含む知識を身につけている。また、仏教音楽を通して自らの在り方を問うことが出来る。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	宗教と音楽① キリスト教の音楽と仏教音楽の歴史と実際	授業で取り扱った楽曲を歌えるよう復習する
2.	宗教と音楽② 真宗における音楽	授業で取り扱った楽曲を歌えるよう復習するとともに、言葉の意味を調べる
3.	真宗の儀式と音楽① 同朋奉讃式 第二	授業で取り扱った楽曲を歌えるよう復習するとともに、言葉の意味を調べる
4.	真宗の儀式と音楽② 同朋奉讃式 第一	授業で取り扱った楽曲を歌えるよう復習するとともに、言葉の意味を調べる
5.	真宗の儀式と音楽③ 音楽法要	授業で取り扱った楽曲を歌えるよう復習するとともに、言葉の意味を調べる
6.	子どもの讃仏歌	授業で取り扱った楽曲を歌えるよう復習するとともに、言葉の意味を調べる
7.	和讃による音楽①	授業で取り扱った楽曲を歌えるよう復習するとともに、言葉の意味を調べる
8.	和讃による音楽②	授業で取り扱った楽曲を歌えるよう復習するとともに、言葉の意味を調べる
9.		
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	授業内でプリントを配布する
参考書	仏教讃歌Ⅰ・Ⅱ(東本願寺出版部)、真宗大谷派勤行集
学習成果の評価方法	講義に臨む姿勢・意欲態度30%、授業内での課題への取り組み70%
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	授業時及び研究室在室時に直接受け付ける。 また、Google Classroomでも受け付ける。

c07

科　目	仏教音楽Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	樋口光融	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	前期「仏教音楽Ⅰ」に連続した授業であり、主に西洋音楽の流れをくむ、現代の仏教音楽、特に真宗の仏教音楽について学ぶ。西洋音楽は宗教儀式との関わりにより大きく発展してきたが、日本においても明治期以降にはその影響を大きく受け、仏教の儀式等においても親しまれてきた。仏教音楽を通して、真宗の心をいただく、我々の在り方を考える。		
到達目標	現代の真宗の音楽について知識を深めるとともに、身体技法としての音楽への接し方を身につけ、生涯にわたり仏教音楽に親しみ、音楽を通じた聞法の生活と念仏僧伽の形成に結び付く資質の涵養を目指す。		
学習成果の評価基準	現代の真宗の音楽について具体的な楽曲に関する事を含む知識を身につけている。また、仏教音楽を通して自らの在り方を問うことが出来る。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	合唱による仏教讃歌①	授業で取り扱った楽曲の言葉の意味を調べるとともに、演奏できるよう復習する
2.	合唱による仏教讃歌②	授業で取り扱った楽曲の言葉の意味を調べるとともに、演奏できるよう復習する
3.	合唱による仏教讃歌③	授業で取り扱った楽曲の言葉の意味を調べるとともに、演奏できるよう復習する
4.	器楽による仏教音楽①	授業で取り扱った楽曲の言葉の意味を調べるとともに、演奏できるよう復習する
5.	器楽による仏教音楽②	授業で取り扱った楽曲の言葉の意味を調べるとともに、演奏できるよう復習する
6.	器楽による仏教音楽③	授業で取り扱った楽曲の言葉の意味を調べるとともに、演奏できるよう復習する
7.	音楽による法要式①	授業で取り扱った楽曲の言葉の意味を調べるとともに、演奏できるよう復習する
8.	音楽による法要式②	授業で取り扱った楽曲の言葉の意味を調べるとともに、演奏できるよう復習する
9.		
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	授業内でプリントを配布する
参考書	仏教讃歌Ⅰ・Ⅱ(東本願寺出版部)、真宗大谷派勤行集
学習成果の評価方法	講義に臨む姿勢・意欲態度30%、授業内での課題への取り組み70%
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	授業時及び研究室在室時に直接受け付ける。 また、Google Classroomでも受け付ける。

009

科　目	親鸞入門Ⅰ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	11月27日（土）～29日（月）の2泊3日の日程で、京都東本願寺の報恩講に奉仕団として参拝する。東本願寺の同朋会館に宿泊し、法要参拝・講義・座談などを行うことによって、親鸞の生涯と教えを学ぶ。		
到達目標	報恩講奉仕団に参加し、親鸞の生涯と教えが理解できるようになる。		
学習成果の評価基準	報恩講奉仕団への積極的な参加を「受講態度」の評価とする。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	授業概要	「授業要覧」『親鸞　生涯と教え』を読む
2.	11/27（土） オリエンテーション	『親鸞　生涯と教え』を読む
3.	講義	『親鸞　生涯と教え』を読む
4.	座談	『親鸞　生涯と教え』を読む
5.	11/28（日） 晨朝勤行参拝	『親鸞　生涯と教え』を読む
6.	法要参拝①	『親鸞　生涯と教え』を読む
7.	法要参拝②	『親鸞　生涯と教え』を読む
8.	清掃奉仕	『親鸞　生涯と教え』を読む
9.	夕事勤行参拝	『親鸞　生涯と教え』を読む
10.	講義	『親鸞　生涯と教え』を読む
11.	座談	『親鸞　生涯と教え』を読む
12.	11/29（月） 晨朝勤行参拝	『親鸞　生涯と教え』を読む
13.	諸殿拝観	『親鸞　生涯と教え』を読む
14.	座談	『親鸞　生涯と教え』を読む
15.	レポート作成	『親鸞　生涯と教え』を読む

教科書	『親鸞　生涯と教え』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（70%）レポート（30%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

009

科　目	仏教の歴史と文化	開講時期 履修方法	1年・2年後期 選択、生活の基礎
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ブッダ釈尊の足跡（成道の地ブッダガヤ・初転法輪の地サールナート・入滅の地クシナガラなど）をたどる中で、仏教の歴史と文化を学ぶ。		
到達目標	インド研修に参加し、釈尊の生涯と教えを理解できるようになる。		
学習成果の評価基準	インド研修への積極的な参加を「受講態度」の評価とする。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	事前学習	「授業要覧」『釈尊　生涯と教え』を読む
2.	ブッダガヤ研修① 大塔、金剛宝座参拝	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
3.	ブッダガヤ研修② スジャータの村訪問、前正覚山の留影窟参拝	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
4.	ラージギル研修① 霊鷲山参拝	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
5.	ラージギル研修② 南門、竹林精舎など見学	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
6.	ヴァイシャリ研修① ヴァイシャリ参拝（1）	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
7.	ヴァイシャリ研修② ヴァイシャリ参拝（2）	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
8.	クシナガラ研修① 涅槃堂参拝	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
9.	クシナガラ研修② ラーマバール参拝	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
10.	ヴァラナシー研修① ガンジス川沐浴見学	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
11.	ヴァラナシー研修② マハラジャ宮殿など見学	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
12.	サールナート研修① ダメーク・ストゥーパ参拝	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
13.	サールナート研修② 考古学博物館など見学	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
14.	事後学習	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む
15.	レポート作成	研修資料と『釈尊　生涯と教え』を読む

教科書	『釈尊　生涯と教え』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（70%）レポート（30%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0091

科　目	倫理学（仏教）	開講時期 履修方法	１年後期 選択、生活の基礎
担当者	東　道成	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	今年はキリスト教の新約聖書にある「ヨハネによる福音書」を読んでいきたい。四つの福音書の中でも特に思索的であると言われている本書は、他の三福音書とは異なる視点でイエスの生涯を伝えようとしている。イエスが生まれ、神としてはたらき、人間の欲望によって殺されることの意味を、現代の私たちに照らしながら考えていきたい。新約聖書はイエスという実在の個人が、救世主（神）として現れ、苦悩する人間によりそう物語である。だが神の言葉（福音）を受けて悔い改める人間は少なく、理解されずに彼は処刑される。福音書は単なる伝記でない。イエスという特別な存在が私たちの心を揺さぶり警告する—問いかけの書である。		
到達目標	諸宗教の教義を学ぶことで、仏教を客観的に多面的に見れるようになり、より深く仏教を理解することができる		
学習成果の評価基準	到達目標の達成度を測るために、定期試験を実施し6割以上の正答ができる。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション、授業の方針（発題→←発表→←質疑）	福音書、イエス、神
2.	１～２章　イエスの誕生、言葉が肉となった、洗礼者ヨハネ	誕生、言葉、しるし
3.	３～４章　新たに生まれる、救いはユダヤ人からくる	霊、救済、不思議
4.	５～６章　病人をいやす、五千人に食べ物を与える	安息日、奇跡、権威
5.	７～８章　イエスの兄弟たち、正しい裁き、わたしは世の光	不信仰、姦通の女、自由
6.	９～１０章　ファリサイ派の人々の罪、イエスは良い羊飼い	ファリサイ派、人間と神
7.	１１～１２章　ラザロの死、涙を流すイエス、イエスを殺す計画	ベタニア、ギリシア、エルサレム
8.	１３～１４章　弟子の足を洗う、裏切りの予告	真理の霊、往還
9.	１５～１６章　私につながっていること、迫害の予告	御名（みな）によって守る
10.	１７～18章　イエスの祈り、裏切られ、逮捕される	大祭司、ペトロ、ピラト
11.	１９～２０章　死刑の判決を受ける、十字架につけられる	復活、よみがえる
12.	２１章　弟子に現れる、復活の意味	弟子のその後、伝道
13.	２３～２４章　イエスの逮捕、裁判、尋問、処刑、イエスの死	ピラト、十字架
14.	復習とまとめ　　キリスト教と仏教	契約と本願
15.	復習とまとめ　　宗教と人間	人間とは何か

教科書	『聖書—新共同訳—』（日本聖書協会刊）
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（３０％）　定期試験（６０％）　授業内発表（３０％）
特記すべき事項	「聖書」があなたにとって、いつかふと紐解いてみたくなる本になれば幸いです。
質問・相談等の受付	

0092

科　目	倫理学（演）	開講時期 履修方法	２年後期 選択、専門科目
担当者	三明智彰	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	人が、人としてこの世に生きて行くためには、「人間」としての「完全なる立脚地」（清沢満之）がなければならない。 「人間」とは、もともと仏教語であり、人は間柄がなければ生きていけない存在であることを示す言葉である。倫理学は、人倫の道理を学ぶ「人間の学」である。この授業は、九州大谷短期大学演劇放送フィールドのなくてはならない科目であり、深く広い世界史の中心問題であり続ける、「倫理学」によって、人間としての生き方を学びます。		
到達目標	世界の歴史的偉人、特に釈尊・親鸞の生きざまに照らしつつ、自分自身の生き方と、他の人々と共に生きる生き方について、自ら考え実行する力を持つようになる。		
学習成果の評価基準	聞く力、話す力、書く力、読む力を、感話（10%）、授業態度〈朗読・質疑応答・聞く態度〉（20%）、小テスト（20%）、期末試験（50%）によって評価する。私語による授業への悪影響は減点対象とする（－20%）		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	はじめに 倫理とは 学とは	予習：「私の生き方」を考える。 復習：授業内容を振り返る
2.	古代ギリシャの倫理学 ギリシャの演劇 ソクラテス、プラトン、アリストテレス	予習：「無知の知」を考える。 復習：授業内容を振り返る。
3.	西洋近世・近代の倫理学 デカルト、カント、現代の倫理学説	予習：Cogito ergo sum とは？ 復習：授業内容を振り返る。
4.	中国の倫理学① 諸子百家、孔子、孟子、荀子	予習：中国春秋・戦国時代の状況 復習：授業内容を振り返る。
5.	中国の倫理学② 老子、荘子 『三国志』に見る倫理	予習：無為自然とは？ 復習：授業内容を振り返る。
6.	古代インドの思想	予習：『釈尊　生涯と教え』（東本願寺）音読する 復習：授業内容を振り返る。
7.	釈尊の生涯と教え①	予習：『釈尊　生涯と教え』（東本願寺）音読する 復習：授業内容を振り返る。
8.	釈尊の生涯と教え②	予習：『釈尊　生涯と教え』（東本願寺）音読する 復習：授業内容を振り返る。
9.	釈尊の生涯と教え③	予習：『釈尊　生涯と教え』（東本願寺）音読する 復習：授業内容を振り返る。
10.	釈尊の生涯と教え④	予習：『釈尊　生涯と教え』（東本願寺）音読する 復習：授業内容を振り返る。
11.	釈尊の教えの広がり	予習：『釈尊　生涯と教え』（東本願寺）音読する 復習：授業内容を振り返る。
12.	日本の思想	予習：『親鸞　生涯と教え』（東本願寺） 復習：授業内容を振り返る。
13.	親鸞の生涯と教え①	予習：『親鸞　生涯と教え』（東本願寺） 復習：授業内容を振り返る。
14.	親鸞の生涯と教え②	予習：『親鸞　生涯と教え』（東本願寺） 復習：授業内容を振り返る。
15.	まとめ	予習：『親鸞　生涯と教え』（東本願寺） 復習：授業内容を振り返る。

教科書	『釈尊　生涯と教え』（東本願寺） 『親鸞　生涯と教え』（東本願寺）
参考書	授業の進捗状況に応じて紹介する
学習成果の評価方法	感話（10%）、授業態度〈朗読・質疑応答・聞く態度〉（20%）、小テスト（20%）、期末試験（50%）によって、聞く力、話す力、書く力、読む力を評価する。
特記すべき事項	授業のはじめに感話の時間を持つ。考えて話す力・聞いて考える姿勢を各自が身につけるようにしたい。
質問・相談等の受付	授業中随時。メールは平日の日中受けたものについて数日のうちに応答します。

0093

科　目	日本国憲法	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	藤井昭裕	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	講義では、憲法の基本的な考え方を理解した上で、憲法が主権者である私たち国民にどのような権利を保障しているか、憲法が国家機関をどのように定めているかを、具体的事例（判例）を中心に学んでいきます。		
到達目標	憲法の中心理念である基本的人権という概念につて理解を深め、人権の尊重に自覚的な人間となることを目標とします。		
学習成果の評価基準	判例理解の小テストを行い、単元ごとの理解度を評価する。また、定期試験においては6割以上の正答を要件とする。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	憲法とは何か（憲法の歴史、明治憲法と日本国憲法）	日本国憲法前文を読んでおくこと。
2.	日本国憲法の基本原理（三大基本原理）	前回の復習をしておく。
3.	基本的人権総論（人権とは何か、誰に保障されるのか）	前回の復習をしておく。
4.	基本的人権総論（団体・法人の人権、子どもの人権）	前回の復習をしておく。
5.	幸福追求権（公共の福祉、新しい人権の登場）	前回の復習をしておく。
6.	幸福追求権（個人情報の保護、自己決定権）	前回の復習をしておく。
7.	法の下の平等（「平等」の観念、男女平等の取り組み）	前回の復習をしておく。
8.	思想・良心の自由、学問の自由、信教の自由、政教分離	前回の復習をしておく。
9.	表現の自由（知る権利、アクセス権、集会・結社の自由）	前回の復習をしておく。
10.	表現の自由の制限（公共の福祉、検閲、通信の秘密）	前回の復習をしておく。
11.	経済的自由（職業選択の自由、居住・移転の自由）	前回の復習をしておく。
12.	経済的自由（財産権の保障、正当な補償）	前回の復習をしておく。
13.	人身の自由（適正手続きの保障、令状主義、公正な裁判）	前回の復習をしておく。
14.	社会権（社会権の歴史、社会保障、教育を受ける権利）	前回の復習をしておく。
15.	社会権（労働三権、労働基準法の規定）	前回の復習をしておく。

教科書	スタート憲法［第3版補訂版］（2020年3月出版）　成文堂
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）　小テスト（３０％）　定期試験（５０％）
特記すべき事項	担当者は法律専門職として12年の実務経験を有しています
質問・相談等の受付	講義当日の休憩時間の質問、電子メールでの質問を受け付けます。

0010

科　目	情報処理Ⅰ	開講時期 履修方法	１年前期 選択、生活の基礎
担当者	ＰＣワークス	授業形態 単位数	演習 1単位

授業概要	・タッチタイピングとWindows基礎からのパソコンの基本操作を習得する。 ・ワープロソフトWordによるビジネス文書の作成、ファイル管理、印刷などを反復演習する。
到達目標	・ビジネス文書の定型様式にもとづき、文書作成の基本技能を習得し、Wordで楽に文書を作成できる。 ・表やグラフィック機能を使用し、表現力豊かな文書を作成できる。
学習成果の評価基準	・到達目標の達成度を測るために、小テストや授業内課題で評価する。また、タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Wordを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス・アンケート・パソコン室の使い方と成績評価について 実務で活躍するWordのビジネス文書	パソコンの起動と終了
2.	タイピングの基礎 タイピングソフトの練習の進め方	タイプクイックの使い方
3.	Wordの基礎知識　1 画面構成　キーボードとマウス	Wordの起動と終了
4.	Wordの基礎知識　2 文字入力の基本操作	Wordの基本機能の復習
5.	ビジネス文書の作成 正確な文章入力と文字配置	文字入力 Wordのプロパティ設定
6.	ビジネス文書の編集 書式設定と解除	書式設定 Wordのプロパティ設定
7.	文字の配置と文書管理 書式設定の変更	リボンとコマンドの配置
8.	文章の体裁　1 フォントの様々なコマンド	フォントの設定
9.	文章の体裁　2 段落の様々なコマンド	段落の設定
10.	印刷 印刷プレビュー画面での詳細設定	印刷プレビュー画面の活用
11.	グラフィック機能をつかってみよう ワードアートの挿入と編集	ワードアートの挿入
12.	文書の表現力をアップしよう 画像の挿入・文字の効果・ページ罫線	画像の挿入
13.	表の作成　1 表の挿入と文字の入力と配置	表の挿入
14.	表の作成　2 表のレイアウト変更、表のセル、罫線の書式設定	表の書式設定
15.	まとめ 情報が伝わるビジネス文書を一定時間内に作成	ビジネス文書の作成

教科書	・Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel ２０１６　：FOM出版 ・タイプクイック
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）　小テスト（４０％）　授業内課題（４０％） 自由記述（タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Wordを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0011

科　目	情報処理Ⅱ	開講時期 履修方法	１年後期 選択、生活の基礎
担当者	ＰＣワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	・Excelの基本操作、表計算とデータベース機能について学び、配布資料、会議資料に使えるExcel文書の作成を習得する。 ・PowerPointの基本操作、スライド編集と会議進行や発表の仕方などを学ぶ。		
到達目標	・Excelのセルの操作をマスターし、数式と関数、グラフ、データベース機能を効率よく使用できる。 ・PowerPointのフライド操作をマスターし、配布資料の印刷やスライドを使った発表を行う事ができる。		
学習成果の評価基準	・到達目標の達成度を測るために、小テストや授業内課題で評価する。また、タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Excelを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	Excelの基本操作 セル内文字入力と計算	セルの文字入力と配置
2.	集計表の作成	sum関数で集計
3.	四則演算と関数について セル参照の種類	四則演算と便利な関数
4.	表の書式設定と印刷	印刷プレビューの設定
5.	グラフの作成 代表的な３種類のグラフ・円グラフ・棒グラフ	グラフの種類
6.	表計算とグラフの復習	中間評価
7.	データベース　1 テーブル機能と並べ替え	データの並べ替え
8.	データベース　2 テーブル機能と抽出（フィルター）	データのフィルター
9.	ExcelとWordの連携　1 Excelの表をWordに貼り付ける	コピー貼り付け
10.	ExcelとWordの連携　2 ExcelのデータをWordの文書に差し込んで印刷する	差し込み印刷
11.	表計算とグラフのおさらい データーベース機能の復習	データベース機能
12.	PowerPointの基本操作 プレゼンテーションの作成	PowerPointのスライド作成
13.	PowerPointの編集　1 テーマとプレースフォルダ	PowerPointの画面切り替え
14.	PowerPointの編集　2 スライドの構成、図形・SmartArtグラフィックの作成	図形とSmartArtの挿入
15.	まとめ Word・Excel・PowerPointの連携課題文書作成	

教科書	・Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel ２０１６ ：FOM出版 ・タイプクイック
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）　小テスト（４０％）　授業内課題（４０％） 自由記述（タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Excelを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0010

科　目	情報処理Ⅰ（情報司書ﾌｨｰﾙﾄﾞ）	開講時期 履修方法	１年前期 選択、生活の基礎
担当者	ＰＣワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	・タッチタイピングの習得、ビジネス文書の構成要素、電子メールの書き方の基本、ビジネス図解の基本を学ぶ。 ・Wordの画面構成、基本機能を習得し、基本的なビジネス文書の作成と表や図形の活用を習得する。		
到達目標	・日本商工会議所の日商PC検定「文書作成」３級の全員の合格を達成し、必要に応じて効率よくビジネス文書を作成できる。 ・伝えたい内容を受け取る人にわかりやすい表現を工夫して文書作成ができる。		
学習成果の評価基準	・到達目標の達成度を測るために、小テストや授業内課題で評価する。また、タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Wordを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス・アンケート・パソコン室の使い方と成績評価について 日商PC検定試験「文書作成」について	パソコンの起動と終了
2.	タイピングの基礎 タイピングソフトの練習の進め方	タイプクイックの使い方
3.	Wordの基礎知識　1 画面構成　キーボードとマウス	Wordの起動と終了
4.	電子メール　1 ビジネス電子メールのマナー	メールの送受信の復習
5.	電子メール　2 メールの送受信と添付ファイルについて	添付ファイルの復習
6.	インターネットでビジネス図解を検索 マトリックス型図解、フローチャートなど	インターネット検索
7.	ファイルとフォルダ 教材の配布	ファイルの保存、移動、コピーの復習
8.	Wordの概要 起動と終了	タッチタイピング習熟度評価
9.	ビジネス文書の作成　1 文字入力・編集と書式設定	Wordの画面構成の確認
10.	ビジネス文書の作成　2 フォントと段落の書式設定	フォントのコマンド 段落のコマンド
11.	表のあるビジネス文書の作成　1 表の挿入、編集	表ツール　レイアウト
12.	表のあるビジネス文書の作成　2 表のセル内の文字配置と表の書式設定	表ツール　デザイン
13.	図形のあるビジネス文書の作成 図形とテキストボックス	図形の挿入と書式設定
14.	ビジネス文書の作成 知識と技能のおさらい	ビジネス文書の知識
15.	まとめ 日商PC検定試験「文書作成」模擬試験課題	ビジネス文書の作成

教科書	・よくわかるマスター　日商PC検定試験　文書作成　3級　：FOM出版 ・タイプクイック
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）　小テスト（４０％）　授業内課題（４０％） 自由記述（タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Wordを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0011

科　目	情報処理Ⅱ（情報司書ﾌｨｰﾙﾄﾞ）	開講時期 履修方法	１年後期 選択、生活の基礎
担当者	ＰＣワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	・タッチタイピングのスキルアップ、ビジネス文書の構成要素など知識を学ぶ。 ・Wordによって基本的なビジネス文書の作成と編集をいかに効率良く行うかを学ぶ。		
到達目標	・日本商工会議所の日商PC検定「文書作成」３級の全員の合格を達成し、必要に応じて効率よくビジネス文書を作成できる。 ・伝えたい内容を受け取る人にわかりやすい表現を工夫して文書作成ができる。		
学習成果の評価基準	・到達目標の達成度を測るために、小テストや授業内課題で評価する。また、タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Wordを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	文字入力のスピードと正確さ	タイプクイックの記録
2.	ビジネス文書の構成について知識確認	ビジネス文書の基本様式
3.	ビジネス文書作成演習　1	文字入力の効率化チェック
4.	ビジネス文書作成演習　2	ビジネス文書例題
5.	表の作成・編集の演習　1	様々な表の作成練習
6.	表の作成・編集の演習　2	様々な表の修正練習
7.	「文書作成」3級の概要	日商PC検定の確認
8.	筆記試験　中間模擬試験　解答・解説	筆記試験内容の復習
9.	模擬試験演習　1	過去問題と対策　1
10.	模擬試験演習　2	過去問題と対策　2
11.	模擬試験演習　3	過去問題と対策　3
12.	模擬試験演習　4	過去問題と対策　4
13.	模擬試験演習　5	過去問題と対策　5
14.	模擬試験演習　6	過去問題と対策　6
15.	模擬試験演習　7	過去問題と対策　7

教科書	・よくわかるマスター　日商PC検定試験　文書作成　3級　：FOM出版 ・タイプクイック
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）　小テスト（４０％）　授業内課題（４０％） 自由記述（タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Wordを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0010

科　目	情報処理Ⅰ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	１年前期 選択、生活の基礎
担当者	ＰＣワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	・タッチタイピングとWindows基礎からのパソコンの基本操作を習得する。 ・ワープロソフトWordによるビジネス文書の作成、ファイル管理、印刷などを反復演習する。		
到達目標	・ビジネス文書の定型様式にもとづき、文書作成の基本技能を習得し、Wordで楽に文書を作成できる。 ・表やグラフィック機能を使用し、表現力豊かな文書を作成できる。		
学習成果の評価基準	・到達目標の達成度を測るために、小テストや授業内課題で評価する。また、タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Wordを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス・アンケート・パソコン室の使い方と成績評価について 実務で活躍するWordのビジネス文書	パソコンの起動と終了
2.	タイピングの基礎 タイピングソフトの練習の進め方	タイプクイックの使い方
3.	Wordの基礎知識　1 画面構成　キーボードとマウス	Wordの起動と終了
4.	Wordの基礎知識　2 文字入力の基本操作	Wordの基本機能の復習
5.	ビジネス文書の作成 正確な文章入力と文字配置	文字入力 Wordのプロパティ設定
6.	ビジネス文書の編集 書式設定と解除	書式設定 Wordのプロパティ設定
7.	文字の配置と文書管理 書式設定の変更	リボンとコマンドの配置
8.	文章の体裁　1 フォントの様々なコマンド	フォントの設定
[illegible]	文章の体裁　2 段落の様々なコマンド	段落の設定
10.	印刷 印刷プレビュー画面での詳細設定	印刷プレビュー画面の活用
11.	グラフィック機能をつかってみよう ワードアートの挿入と編集	ワードアートの挿入
12.	文書の表現力をアップしよう 画像の挿入・文字の効果・ページ罫線	画像の挿入
13.	表の作成　1 表の挿入と文字の入力と配置	表の挿入
14.	表の作成　2 表のレイアウト変更、表のセル、罫線の書式設定	表の書式設定
15.	まとめ 情報が伝わるビジネス文書を一定時間内に作成	

教科書	・Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel ２０１６　：FOM出版 ・タイプクイック
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）　小テスト（４０％）　授業内課題（４０％） 自由記述（タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Wordを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0011

科　目	情報処理Ⅱ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	１年後期 選択、生活の基礎
担当者	ＰＣワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	・タッチタイピングとWindows基礎からのパソコンの基本操作を習得する。 ・ワープロソフトWordによるビジネス文書の作成、ファイル管理、印刷などを反復演習する。		
到達目標	・ビジネス文書の定型様式にもとづき、文書作成の基本技能を習得し、Wordで楽に文書を作成できる。 ・表やグラフィック機能を使用し、表現力豊かな文書を作成できる。		
学習成果の評価基準	・到達目標の達成度を測るために、小テストや授業内課題で評価する。また、タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Excelを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	Word文書の作成 図形や写真の挿入	Wordの自由課題の作成
2.	Excelの基礎知識	Excelの起動と終了
3.	Excelの基本操作 セル内文字入力と計算	セルの文字入力と配置
4.	集計表の作成	sum関数で集計
5.	四則演算と関数について セル参照の種類	四則演算と便利な関数
6.	表の書式設定と印刷	印刷プレビューの設定
7.	グラフの作成　1 代表的な３種類のグラフ・円グラフ	グラフの種類
8.	グラフの作成　2 棒グラフと書式設定	グラフの編集
9.	表計算とグラフの復習	中間評価
10.	データベース　1 テーブル機能と並べ替え	データの並べ替え
11.	データベース　2 テーブル機能と抽出（フィルター）	データのフィルター
12.	ExcelとWordの連携　1 Excelの表をWordに貼り付ける	コピー貼り付け
13.	ExcelとWordの連携　2 ExcelのデータをWordの文書に差し込んで印刷する	差し込み印刷
14.	表計算とグラフのおさらい データーベース機能の復習	データベース機能
15.	まとめ 表とグラフを作成し印刷する課題	Excelの活用

教科書	・Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel ２０１６ ：FOM出版 ・タイプクイック
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（２０％）　小テスト（４０％）　授業内課題（４０％） 自由記述（タッチタイプの練習をした成果報告や、学生生活の中で、Excelを使って作ったオリジナル文書も提出すれば評価する）
特記すべき事　項	
質問・相談等の受付	

科　目	情報処理Ⅲ	開講時期 履修方法	１年後期 選択、生活の基礎
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	表計算ソフト「Ｅｘｃｅｌ」をとり あげる。表計算の基本的な仕組みの理解からはじめ、グラフ作成、関数を使った計算、データベースとしての利用、ワープロソフ トとの連携等演習を行うことにより、Excelを実用的に使いこなせるようになる。		
到達目標	Excelの基本的操作ができ、表やグラフを作成し、データベース操作ができるようになること。		
学習成果の評価基準	単元ごとに課題で理解度を確認する。 定期試験で総合力を問う。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	表計算ソフトとは	
2.	Excelの基本	教科書p2～22
3.	データの編集１	教科書p23～44
4.	データの編集２	教科書p45～56
5.	表の編集１	教科書p57～69
6.	表の編集２	教科書p70～84
7.	ブックの印刷	教科書p85～102
8.	グラフの作成	教科書p103～125
9.	図形の作成	教科書p126～140
10.	ブックの利用と管理	教科書p141～155
11.	関数１	教科書p157～174
12.	関数２	教科書p175～181
13.	関数３	教科書ｐ182～190
14.	データベース機能	教科書p191～212
15.	総合学習問題	総復習

教科書	『Excel2016クイックマスター（基本編）』　ウイネット
参考書	
学習成果の評価方法	定期試験：50%　　授業内課題：50%
特記すべき事項	情報処理士必修
質問・相談等の受付	図書館で随時受付 電子メールでも　sakagawa@kyushuotani.online

0012

科　目	書道Ⅰ	開講時期 履修方法	１年前期 選択、生活の基礎
担当者	下川佐知子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	・実用ペン字・初学者を対象にして、反復練習により、癖の少ない素直な文字を習得させ、技法を理解する。		
到達目標	文字を基礎から学び、書技と一般常識を習得した社会人に成長できるよう育成する。		
学習成果の評価基準	技術の達成度を測るため、添削を行い、どれだけ向上したか採点する。また定期試験を行う。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	生活の中の書とは何か 文字の成り立ちの説明	授業内容を復習すること
2.	筆順確認テスト１ 字形と筆順についての解説	授業内容を復習すること
3.	筆順確認テスト２ 字形と筆順についての解説	授業内容を復習すること
4.	ペンの持ち方　姿勢と執筆 楷書とは何か。楷書の基本点画	授業内容を復習すること
5.	楷書の練習１	授業内容を復習すること
6.	楷書の練習２	授業内容を復習すること
7.	楷書の練習３	授業内容を復習すること
8.	行書とは何か。行書の基本点画 行書の練習１	授業内容を復習すること
9.	行書の練習２	授業内容を復習すること
10.	行書の練習３	授業内容を復習すること
11.	葉書・封筒の書き方についての解説 葉書・封筒書きの練習	授業内容を復習すること
12.	手紙文の書き方についての解説 手紙文の作成１	授業内容を復習すること
13.	手紙文の作成２	授業内容を復習すること
14.	暑中見舞い葉書の練習１	授業内容を復習すること
15.	暑中見舞い葉書の練習２	授業内容を復習すること

教科書	硬筆レッスン帳　和田康子著　教育図書
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（３０%）　授業内課題（３０%）　定期試験（４０%）
特記すべき事項	パイロットカクノ万年筆細字、又はパイロットもしくはプラチナデスクペン細字　１４・１５葉書の準備
質問・相談等の受付	随時対応します

0013

科　目	書道Ⅱ	開講時期 履修方法	１年後期 選択、生活の基礎
担当者	下川佐知子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	実用ペン字。実用書道。学生は、楷書、行書の基本を理解し、なるべく癖の少ない書風技法を理解し習得することをねらいとする。		
到達目標	パソコン使用の多くなった昨今、手書きの素晴らしさを確認し、書技と一般常識を習得した社会人に成長するよう育成する。		
学習成果の評価基準	技術の達成度を測るため、添削を行い、どれだけ向上しているか採点する。また、定期試験を行う。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ペン字の練。（ひらがな・楷書）	授業での復習をする
2.	ペン字の練習　（ひらがな・行書）	授業での復習をする
3.	書道道具の確認。小筆の持ち方。姿勢と執筆法	授業での復習をする
4.	楷書の基本点画の書き方解説	授業での復習をする
5.	楷書の練習１	授業での復習をする
6.	楷書の練習２ 名前の練習	授業での復習をする
7.	熨斗袋・熨斗紙の表書きの書き方の解説	授業での復習をする
8.	熨斗袋・熨斗紙の表書きの練習１	授業での復習をする
9.	熨斗袋・熨斗紙の表書きの練習２	授業での復習をする
10.	行書の基本点画の書き方解説	授業での復習をする
11.	行書の練習１	授業での復習をする
12.	行書の練習２	授業での復習をする
13.	年賀状の練習１	授業での復習をする
14.	年賀状の練習２	授業での復習をする
15.	オリジナル年賀状の作成　　清書	授業での復習をする

教科書	プリント写本　　「年賀状作品集」書道笹波会出版
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（３０％）　授業内課題（３０％）　定期試験（４０％）
特記すべき事項	１・２ペン準備、３～１５書道道具準備、１４・１５葉書準備
質問・相談等の受付	対応します

0014

科　目	華道Ⅰ	開講時期 履修方法	１年前期 選択、生活の基礎
担当者	市岡久美子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	自由花・盛花の基本		
到達目標	池坊脇教授3級の取得を目指す 入門・初伝		
学習成果の評価基準	自由花・成果の基本の修得を測るため、授業内課題で評価し、授業のまとめとして到達度を測り評価する。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	生け花を始める心構え	
2.	生け花の特性	自宅で生け直す
3.	盛花の基本的な生け花	自宅で生け直す
4.	盛花の基本的な生け花	自宅で生け直す
5.	盛花の基本的な生け花	自宅で生け直す
6.	盛花の基本的な生け花	自宅で生け直す
7.	自由花	自宅で生け直す
8.	自由花	自宅で生け直す
9.	盛花	自宅で生け直す
10.	盛花	自宅で生け直す
11.	自由花	自宅で生け直す
12.	生花の基本的な生け花	自宅で生け直す
13.	生花の基本的な生け花	自宅で生け直す
14.	盛花	自宅で生け直す
15.	自由花・まとめ	自宅で生け直す

教科書	池坊花伝書
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（１０％）　授業内課題（５０％）　その他【まとめ】（４０％）
特記すべき事項	鋏の準備
質問・相談等の受付	

6015

科　目	華道Ⅱ	開講時期 履修方法	１年後期 選択、生活の基礎
担当者	市岡久美子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	生花の基本的ないけ方		
到達目標	中伝		
学習成果の評価基準	自由花・生花の基本の修得を測るため、授業内課題で評価し、授業のまとめとして到達度を測り評価する。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	生花	
2.	生花	自宅で生け直す
3.	生花	自宅で生け直す
4.	盛花	自宅で生け直す
5.	生花	自宅で生け直す
6.	自由花	自宅で生け直す
7.	盛花	自宅で生け直す
8.	生花	自宅で生け直す
9.	自由花	自宅で生け直す
10.	盛花	自宅で生け直す
11.	生花	自宅で生け直す
12.	自由花	自宅で生け直す
13.	生花	自宅で生け直す
14.	生花	自宅で生け直す
15.	生花・まとめ	自宅で生け直す

教科書	池坊花伝書
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（１０％）　授業内課題（５０％）　その他【まとめ】（４０％）
特記すべき事項	鋏の準備
質問・相談等の受付	

0016

科　目	英語Ⅰ	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ペアとグループワークで英会話を練習、発音ドリルとクイズ、英語の歌、Workbook、と読書ジャーナルを使って、学生の英語の実力をレベルアップします。		
到達目標	単語と文法を復習しながら、英語の日常聞き取りと会話に慣れる。自分の思いと意見を英語で書ける。		
学習成果の評価基準	Workbookとプリント課題への取り組みを評価基準とします。毎授業毎に提出してください。 なお、課題とする新聞読書ジャーナルへの取り組みも評価基準となります。 成績評価方法の詳細については、1回目の授業時に説明します。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	クラスの紹介、英語発音の紹介、ローマ字の復習ABC Song	自分の名前のローマ字を筆記体で書いてみる。
2.	Front 母音、 ABC Song 、発音クイズ紹介、音／つづりルール, Unit 1(1)	英語発音ドリルP6、7、9, (1)、意味を調べる。
3.	発音聞き取り診断試験、If You're Happy,Unit 1(2,Int1,3,5)	Unit 1 (3)、意味を調べる。
4.	Unit 1 (7,8,9,10) 発音クイズ、If You're Happy	Unit 1 (7)、意味を調べる。
5.	Unit 2 (1,2)、Rounded母音、発音クイズ 、She' ll be Coming	Unit 2 (3)、職業の単語の意味を調べる。
6.	Unit 2 (4,5)、発音クイズ、She' ll be Coming	Unit 2 (4)、意味を調べる。
7.	Unit 2 (7,9,10)、発音クイズ、「あ」の関係の母音、She' ll be Coming	Unit 2 (7)、意味を調べる。
8.	Unit3 (2,3)、 発音クイズ、She'll Be Coming	Unit 3 (2)、意味を調べる。
9.	Unit 3 (6,8,9,10)、発音クイズ、Clementine	Unit 3 (9)、意味を調べる。
10.	Unit 4 (2,3,4,6)、発音クイズ、Clememtine	Unit 4 (3)、意味を調べる。
11.	Unit 4 (7,8,9)、発音クイズ、Clementine	Unit 4 (8)、意味を調べる。
12.	Unit 5 (1,2,3,5)、発音クイズ、I've Been Working	Unit 5 (3)、意味を調べる。
13.	Unit 6 (2,3,4,7)、発音クイズ、I've Been Working	Unit 6 (3)、意味を調べる。
14.	Unit 6 (8,10,11,12)、発音クイズ、I've Been Working	Unit 6 (10)、意味を調べる。
15.	発音聞き取り試験、インタビュー試験のスクリプトの説明と試験練習し方	英語母音復習

教科書	New Interchange 1, 5th Ed. StudentとWorkbook、英語発音ドリル、Songs for English Pronunciation
参考書	
学習成果の評価方法	授業活動報告　(5%)　聞き取りクイズ　(10%) Workbookとプリント課題　(25%) 定期試験 (50%) 新聞読書ジャーナル　(10%)
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0017

科　目	英語Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ペアとグループワークで英会話を練習、発音ドリルとクイズ、英語の歌、Workbook、と読書ジャーナルを使って、学生の英語の実力をレベルアップします。		
到達目標	単語と文法を復習しながら、英語の日常聞き取りと会話に慣れる。自分の思いと意見を英語で書ける。		
学習成果の評価基準	Workbookとプリント課題への取り組みを評価基準とします。毎授業毎に提出してください。 なお、課題とする新聞読書ジャーナルへの取り組みも評価基準となります。 成績評価方法の詳細については、1回目の授業時に説明します。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	シラバスの確認、発音聞き取り診断試験、二重母音紹介、Old MacDonald、Unit 7 (1,2), Workbookの問題説明	Unit 7 (2)、意味を調べる。母音の復習
2.	Unit 7 (5,7,9,10,13) 発音クイズ、Old MacDonald	Unit 7 (9)、意味を調べる。
3.	Unit 8 (1,2,3) 発音クイズ、洋風の道案内紹介、Old MacDonald	Unit 8 (2,3)、意味を調べる。
4.	発音クイズ、母音+"R"、Old MacDonald、洋風の道案内：住所関係と町の形、道案内の例え、練習	Unit 8 (3)の復習
5.	発音クイズ、De Camptown Races、道案内練習：聞き取り、伝え、と書き	道案内の目も復習
6.	発音クイズ、De Camptown Races、和風の道案内（洋風田舎形）の紹介、例え、と書く練習	日本語での道案内を書いてみましょう。
7.	発音クイズ、De Camptown Races、Unit 9 (1,2,3)	Unit 9 (2)、意味を調べる。
8.	発音クイズ、De Camptown Races、Unit 9 (4,8,9)	Unit 9 (8)、意味を調べる。
9.	発音クイズ、二重母音+"R"、Down in the Valley、Unit 10 (2,3) 現在完了形の二種類紹介	Unit 10 (2)、意味を調べる。
10.	発音クイズ、Down in the Valley、Unit 10 (4,5,7,8)、「for」と「since」と時間表現	Unit 10 (4)、意味を調べる。
11.	発音クイズ、Down in the Valley、Unit 13 (1,2,3)、食事表現プリント	Unit 13 (1)を読んで、(2)の意味を調べる。
12.	発音クイズ、Goin' down to Town、Unit 13 (3,5,6,7)	Unit 13 (6)、意味を調べる。
13.	発音クイズ、Goin' down to Town、Unit 13 (8,9)、Unit 15 (1,2)	Unit 13(6,7)の復習、Unit 15 (2)、意味を調べる。
14.	発音クイズ、Pop! Goes the Weasel、Unit 15 (3,7,8)	Unit 15 (7)、意味を調べる。
15.	発音聞き取り試験、Pop! Goes the Weasel、Unit 15 (11)、インタビュー試験のスクリプトの説明	英語母音復習

教科書	New Interchange 1, 5th Ed. StudentとWorkbook、英語発音ドリル、Songs for English Pronunciation
参考書	
学習成果の評価方法	授業活動報告（5%）　聞き取りクイズ（10%）　Workbookとプリント課題（25%）　定期試験（50%）　新聞読書ジャーナル　（10%） 成績評価方法の詳細については、1回目の授業時に説明します。
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0016

科　目	英語Ⅰ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート 塩塚力也	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	保育関係の単語、幼児指導と親に触合い関係の文法を数々の形で学んだり、練習したりしてもらいます。特別な課題は英語の幼児用の歌練習、「Mother Goose Rhymes」の音読練習、英語の絵本の選び方と英語の絵本の読み聞かせ方法です。英語で自分の意見の通信は記事読書ジャーナルを書きながら、練習します。		
到達目標	保育に役にたつ英語を全面的にレベルアップする。		
学習成果の評価基準	毎時間ごとに課す宿題を評価対象とします。必ず提出してください。 その他、個人インタビューによる会話表現、読書ジャーナルの提出を評価します。 詳細については、1回目の授業時に説明します。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	コース紹介、歌、と絵本調べ、,授業反省文書と読書ジャーナルの説明、インタビューの会話と説明、インタビューの予約取り	B5ノート２冊とA4,40ポケットファイルがいる。
2.	マンツーマンインタビューそれぞれ３回あります。「紹介」、「yes/no」、と「うたかMother Goose」。	予約を取って、それぞれの内容の音読練習
3.	草書体のルール、歌、インタビューの予約取りの続き、ジャーナルの書き方の注意、「疑問形復習」、「yes/no質問練習」	歌練習、教科書15～18を読む。
4.	歌、Nursery Rhymes、絵本調べの確認、会話、単語：英語の名前の使い方	教科書20、23-4を読む。
5.	歌、Nursery Rhymes、単語：数字と時間読み、会話、英作	歌練習、教科書26～27を読む。
6.	歌、Nursery Rhymes、会話と英作、単語：所関係の前置詞	教科書29～32を予習する。
7.	歌と先生用踊り、Nursery Rhymes、会話、会話問題説明、英作、単語：大きな数	教科書34～37を予習する。
8.	歌と幼児用踊り、Nursery Rhymes、文法と単語：所の前置詞と「there」形、会話と英作	歌と踊り練習、教科書39と40を読む。
9.	歌、Nursery Rhymes、文法、英作、と単語：道案内	教科書34～37を予習る。
10.	歌、Nursery Rhymes、会話と英作２つ、文法：「looks」と「sounds」	歌練習、教科書46と49を読む。
11.	歌、Nursery Rhymes、会話と英作	歌練習、教科書53-4と57を読む。
12.	歌、Nursery Rhymes、会話、英作、単語	歌練習、教科書63～68を予習する。
13.	歌、Nursery Rhymes、会話、文法、宿題の説目と書き方練習	歌練習、教科書71-2を予習する。
14.	歌とその踊り、Nursery Rhymes、文法、会話、と英作	歌練習、教科書77を予習する。
15.	歌、単位の取り方の確認、試験範囲の説明	宿題などのプリントを整理して、授業に持ってくる。

教科書	「A Garden of Children」、Clearbook 40 ポケット（くばりもののため）、「English Songbook」、（和英辞典　またはスマホンに訳すサイトのブックマークがいります。）
参考書	
学習成果の評価方法	クラスノート＝10%、個人インタビュー＝15%、読書ジャーナル＝10%、絵本調べ＝15%、宿題（テキスト復習等）＝15%、定期試験＝35%
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

00117

科　目	英語Ⅱ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	１年後期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート 塩塚力也	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	保育関係の単語、幼児指導と親に触合い関係の文法を数々の形で学んだり、練習したりしてもらいます。特別な課題は英語の幼児用の歌練習、英語の絵本の選び方、と英語の絵本の読み聞かせ方法です。英語で自分の意見の通信は記事読書ジャーナルを書きながら、練習します。		
到達目標	保育に役にたつ英語を全面的にレベルアップする。		
学習成果の評価基準	毎時間ごとに課す宿題を評価対象とします。必ず提出してください。 その他、個人インタビューによる会話表現、読書ジャーナルの提出を評価します。 詳細については、1回目の授業時に説明します。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	英語II紹介、歌、絵本読み聞かせの課題の説明、前期復習課題説明	後期のジャーナルボーナス、前期中練習（音読）
2.	歌と単語、会話、文法と英作、宿題の説明、絵本読み聞かせの予約取りが始める。	歌練習、絵本の希望リストを提出してくる。
3.	絵本読み聞かせ発表、指定された期間に受けなかったら、遅れ、12月末まで合格必要、受け直しを何回もかまいません。	決めた英語の絵本の内容の準備と発表練習
4.	歌、文法、会話、英作	歌練習、教科書を予習する。
5.	歌、会話と英作２つ、単語	歌練習、教科書を予習する。
6.	歌、文法、会話、英作	教科書を予習する。
7.	歌、会話、単語	歌練習、前期の幼児語メモを復習、教科書を予習
8.	歌、会話、英作、と単語	教科書を予習する。
.	歌と遊び説明、会話と英作２つ	歌練習、疑問文法「have」復習と教科書を予習する。
10.	歌、文法、会話、単語、英作２つ	教科書を予習する。
11.	歌、文法、会話、宿題の説明	教科書を予習する。
12.	歌と遊びの説明、会話と英作、文法と単語、宿題の説明	「English Songbook」２４ページと教科書を予習する。
13.	歌、会話、読み理解の説明、練習、とその宿題の説明	教科書を予習する。
14.	歌、聞き取り練習（定期試験に向かって）	読み理解内容を復習する。
15.	歌、会話、試験範囲説明	歌練習、教科書を予習する。。

教科書	「A Garden of Children」、Clearbook 40 ポケット（くばりもののため）、「Songs for English Pronunciation」
参考書	和英辞典またはスマホンに訳すサイトのブックマークはお勧め
学習成果の評価方法	クラスノート＝10%、読書ジャーナル＝10%、絵本読み聞かせ＝35%、宿題（テキスト復習等）＝15%、定期試験＝30%
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

0018

科　目	保健体育	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	永山　寛	授業形態 単位数	講義 1単位

授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足や、爽快感、達成感、他者との連帯感等、精神的な充足、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図るための理論を中心に学ぶ。
到達目標	自己の身体や体力・運動能力の状況を知り、生涯を通じて主体的かつ継続的な運動・スポーツを実践あるいは支援することに結び付けられるようになる。また、運動やスポーツを通して身に付けた応用力をこれからの社会生活に活用することができる。
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション（授業内容についての説明）	シラバスを読む
2.	体育と競技スポーツ・生涯スポーツについて	体育・運動・スポーツ等の違いについて考える
3.	身体を構成する成分（骨・筋肉と脂肪）と栄養	自己の身体について考える
4.	身体活動とエネルギー消費について（量と強度）	自己の身体について考える
5.	体力・運動能力について①（理論）	体力・運動能力の要素について調べる
6.	体力・運動能力について②（測定結果の振り返り）	体力・運動能力の要素について調べる
7.	フィットネスと運動、トレーニングの原理・原則	これからの生活について考える
8.	安全管理とケガの応急処置・救命処置	運動中の安全管理と処置について考える
9.		
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	使用しない
参考書	適宜、資料等を配布する
学習成果の評価方法	授業態度（40%）、授業内課題（30%）、小テスト（30%） レポート等は、フィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと。
特記すべき事項	授業内容は状況に応じて変更する場合があります。 体育実技も併せて履修することを推奨します。
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所あるいは研究室にて受け付ける。

科　目	体育実技	開講時期 履修方法	1年通年 選択、人間の基礎
担当者	永山　寛	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では実践を通して運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図る。また爽快感や達成感、他者との連帯感等、精神的な充足も図る。更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る。		
到達目標	運動・スポーツの意義や役割、効果等について理解する。そのための理論と実践方法、支援方法を中心に学び、生涯を通じて主体的かつ継続的に運動・スポーツが実践あるいは支援できるようになる。種目の技術的な向上よりも、運動・スポーツを通してより良い人間関係の構築を目指す。		
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション（授業内容についての説明）	シラバスを読み、健康と運動・スポーツの意義を考えておくこと
2.	レクリエーション	レクリエーションの意義と効果について考えておくこと。また体調管理に留意する
3.	レクリエーショナルスポーツ（ミニ運動会）	レクリエーションの意義と効果について考えておくこと。また体調管理に留意する
4.	個人競技（バドミントン／卓球）①	種目のルールや特性について事前に調べておくこと。また、体調管理に留意する
5.	個人競技（バドミントン／卓球）②	種目のルールや特性について事前に調べておくこと。また、体調管理に留意する
6.	個人競技（バドミントン／卓球）③	種目のルールや特性について事前に調べておくこと。また、体調管理に留意する
7.	体力・運動能力測定①	新体力テストの意義と項目、方法について事前に学習しておくこと
8.	体力・運動能力測定②	新体力テストの意義と項目、方法について事前に学習しておくこと
9.	団体競技（バレーボール）①	種目のルールや特性について事前に調べておくこと。また、体調管理に留意する
10.	団体競技（バレーボール）②	種目のルールや特性について事前に調べておくこと、また、体調管理に留意する
11.	団体競技（バレーボール）③	種目のルールや特性について事前に調べておくこと。また、体調管理に留意する
12.	団体競技（バスケットボール）①	種目のルールや特性について事前に調べておくこと。また、体調管理に留意する
13.	団体競技（バスケットボール）②	種目のルールや特性について事前に調べておくこと。また、体調管理に留意する
14.	団体競技（バスケットボール）③	種目のルールや特性について事前に調べておくこと。また、体調管理に留意する
15.	フリースポーツ	自分の得意種目ややってみたい種目について考えておくこと。また、体調管理に留意する

教科書	使用しない
参考書	適宜、資料等を配布する
学習成果の評価方法	受講態度（60%）、授業内課題（40%） レポート等については、フィードバックしたうえで返却する
特記すべき事項	可能な限り、科目「保健体育」も履修してください。実技科目のため体調管理に留意し、別途指定する身なりや服装で受講してください。授業内容は天候や人数等の兼ね合いによって変更する場合があります。
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所（主に体育館）にて受け付ける。

科　目	体育実技	開講時期 履修方法	１年通年 選択、人間の基礎
担当者	永山　寛	授業形態 単位数	実技 1単位

授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では実践を通して運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図る。また爽快感や達成感、他者との連帯感等、精神的な充足も図る。更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る。
到達目標	運動・スポーツの意義や役割、効果等について理解する。そのための理論と実践方法、支援方法を中心に学び、生涯を通じて主体的かつ継続的に運動・スポーツが実践あるいは支援できるようになる。種目の技術的な向上よりも、運動・スポーツを通してより良い人間関係の構築を目指す。
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
16.	ニュースポーツ①（キンボール）	種目について調べておくこと。 また、体調管理に留意する。
17.	ニュースポーツ②（グラウンドゴルフ）	種目について調べておくこと。 また、体調管理に留意する。
18.	ニュースポーツ③（アルティメット）	種目について調べておくこと。 また、体調管理に留意する。
19.	ニュースポーツ④（ユニホック）	種目について調べておくこと。 また、体調管理に留意する。
20.	ニュースポーツ⑤（フットサル）	種目について調べておくこと。 また、体調管理に留意する。
21.	ニュースポーツ⑥（ペタンク（ボッチャ））	種目について調べておくこと。 また、体調管理に留意する。
22.	レクリエーション	体調管理に留意し、仲間とともに協力する姿勢をとる。
23.	まとめ（フリースポーツ）	これまでの授業を振り返り、学んだことと自己の課題について考えておくこと。
24.		
25.		
26.		
27.		
28.		
29.		
30.		

教科書	使用しない
参考書	適宜資料等を配布する
学習成果の評価方法	受講態度（60%）、授業内課題（40%） レポート等については、フィードバックしたうえで返却する
特記すべき事項	可能な限り、科目「保健体育」も履修してください。実技科目のため体調管理に留意し、別途指定する身なりや服装で受講してください。授業内容は天候や人数等の兼ね合いによって変更する場合があります。
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所（主に体育館）にて受け付ける。

0012

科　目	保健体育（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	橋本真理子・永山　寛	授業形態 単位数	講義 1単位

授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足や、爽快感、達成感、他者との連帯感等、精神的な充足、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図るための理論を中心に学ぶ。
到達目標	自己の身体や体力・運動能力の状況を知り、生涯を通じて主体的かつ継続的な運動・スポーツを実践あるいは支援することに結び付けられるようになる。また、運動やスポーツを通して身に付けた応用力をこれからの社会生活に活用することができる。
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション（授業内容についての説明）	シラバスを読む
2.	体育と競技スポーツ・生涯スポーツについて	体育・運動・スポーツ等の違いについて考える
3.	身体を構成する成分（骨・筋肉と脂肪）と栄養	自己の身体について考える
4.	身体活動とエネルギー消費について（量と強度）	自己の身体について考える
5.	体力・運動能力について①（理論）	体力・運動能力の要素について調べる
6.	体力・運動能力について②（測定結果の振り返り）	体力・運動能力の要素について調べる
7.	フィットネスと運動、トレーニングの原理・原則	これからの生活について考える
8.	安全管理とケガの応急処置・救命処置	運動中の安全管理と処置について考える
9.		
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	使用しない
参考書	適宜、資料等を配布する
学習成果の評価方法	受講態度（40%）、授業内課題（30%）、小テストおよびレポート（30%） レポート等は、フィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと。
特記すべき事項	授業内容は状況に応じて変更する場合があります
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所および研究室にて受け付ける。

科　目	体育実技（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	１年通年 選択、生活の基礎
担当者	橋本真理子・永山　寛	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図るとともに、爽快感や達成感、他者との連帯感等、精神的な充足も図る。更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る。		
到達目標	運動・スポーツの意義や役割、効果等について理解することができる。そのための理論と実践方法、支援方法を中心に学び、生涯を通じて主体的かつ継続的に運動・スポーツが実践あるいは支援できるようになる。種目の技術的な向上とともに、運動・スポーツを通してより良い人間関係の構築を目指すようになることができる。		
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス・レクリエーション	シラバスを読み、運動への良いイメージを持つとともに、体調管理に留意する
2.	レクリエーショナルスポーツ（運動会）	グループの仲間と協力して楽しめるために何をすべきかを考えておくとともに、体調管理に留意する
3.	走運動を主体とした運動あそび	走るとは何か、走運動を主体とした遊びについて考えておくとともに、体調管理に留意する
4.	跳運動を主体とした運動あそび	跳ぶとは何か、跳運動を主体とした遊びについて考えておくとともに、体調管理に留意する
5.	投運動を主体とした運動あそび	投げるとは何か、投運動を主体とした遊びについて考えておくとともに、体調管理に留意する
6.	蹴運動を主体とした運動あそび	蹴るとは何か、蹴運動を主体とした遊びについて考えておくとともに、体調管理に留意する
7.	体力測定①	体力測定の意義や効果について調べておくとともに、体調管理に留意する
8.	体力測定②	体力測定の意義や効果について調べておくとともに、体調管理に留意する
9.	リズムダンス①	リズムダンスについて図書館やインターネット等にて調べておくとともに、対ty峰管理に留意する
10.	リズムダンス②	リズムダンスについて図書館やインターネット等にて調べておくとともに、対ty峰管理に留意する
11.	リズムダンス③	リズムダンスについて図書館やインターネット等にて調べておくとともに、対ty峰管理に留意する
12.	リズムダンス④	リズムダンスについて図書館やインターネット等にて調べておくとともに、対ty峰管理に留意する
13.	リズムダンス⑤	リズムダンスについて図書館やインターネット等にて調べておくとともに、対ty峰管理に留意する
14.	リズムダンス⑥	リズムダンスについて図書館やインターネット等にて調べておくとともに、対ty峰管理に留意する
15.	リズムダンス⑦	リズムダンスについて図書館やインターネット等にて調べておくとともに、対ty峰管理に留意する

教科書	使用しない
参考書	適宜、資料等を配布する
学習成果の評価方法	受講態度（60%）、授業内課題（40%） レポート等については、フィードバックしたうえで返却する
特記すべき事項	実技科目のため体調管理に留意し、別途指定する身なりや服装で受講してください。 授業内容は天候や人数等の兼ね合いによって変更する場合があります。
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所および研究室にて受け付ける。

科　目	体育実技（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年通年 選択、生活の基礎
担当者	橋本真理子・永山　寛	授業形態 単位数	実技 1単位

授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図るとともに、爽快感や達成感、他者との連帯感等、精神的な充足も図る。更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る。
到達目標	運動・スポーツの意義や役割、効果等について理解することができる。そのための理論と実践方法、支援方法を中心に学び、生涯を通じて主体的かつ継続的に運動・スポーツが実践あるいは支援できるようになる。種目の技術的な向上とともに、運動・スポーツを通してより良い人間関係の構築を目指すようになることができる。
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。

	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習
16.	器械運動あそび（跳び箱・マット・鉄棒・平均台）	体調管理に留意し、身体の使い方について考えておく
17.	対個人スポーツ①（バド・卓球）	種目の特性やルールについて調べておくとともに、体調管理に留意する
18.	対個人スポーツ②（バド・卓球）	種目の特性やルールについて調べておくとともに、体調管理に留意する
19.	対集団スポーツ①（バレー）	種目の特性やルールについて調べておくとともに、体調管理に留意する
20.	対集団スポーツ②（バレー）	種目の特性やルールについて調べておくとともに、体調管理に留意する
21.	対集団スポーツ③（バスケ）	種目の特性やルールについて調べておくとともに、体調管理に留意する
22.	対集団スポーツ④（バスケ）	種目の特性やルールについて調べておくとともに、体調管理に留意する
23.	まとめ（フリースポーツ）	これまでの授業を振り返るとともに、自分の得意・不得意な種目ややりたい種目を考えておく
24.		
25.		
26.		
27.		
28.		
29.		
30.		

教科書	使用しない
参考書	適宜、資料等を配布する
学習成果の評価方法	
特記すべき事　項	実技科目のため体調管理に留意し、別途指定する身なりや服装で受講してください。 授業内容は天候や人数等の兼ね合いによって変更する場合があります。
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所および研究室にて受け付ける。